

1 アジア宣教における前進とチャレンジ 《迫害下にある国/ 人道支援が進むネパール》

- ジョナサン・アイバーソン師(MTW アジア地域代表) 【通訳】新行内雅代姉(おゆみ野)
- S 夫妻(東関東) ● 上地一哉長老(司会)

アジアは世界で最も人口が密集する地域であり、未伝民族が犇めいています。このセミナーでは MTW※のアジア地域代表であるジョナサン・アイバーソン師が、アジアでの宣教の概況を報告します。アジア地域における 2 つの深刻な問題である〈迫害〉と〈人身売買〉についても触れ、そのような問題の只中において、神様がどのように働いておられるのかについてお分かちします。一例として、人身売買が横行するネパールにおいて、開拓されて間もない教会を通して神様が多くの少女たちを救出されたことを紹介します。また、迫害が進む地域に遣わされた S 夫妻も、メインプログラムに引続き近況をお分かちください。

※ MTW: Mission To the World (アメリカ長老教会 海外宣教委員会)

2 世界宣教マインドを 教会に定着させるために！

- ダニエル・アイバーソン師(おゆみ野キリスト教会/MTW)

一体どうすれば… 地域教会が、もっと世界宣教ビジョンを抱くことができるでしょうか？

- 世界宣教を取り上げる日曜礼拝？
- どうやって教会内に“世界宣教委員会”をつくるか？
- 教会がどのように世界宣教のために献金を捧げ、それを運用すべきか？
- 教会がもっと世界のため、宣教師のために祈るには？

何名かの兄弟方が、それぞれの教会内での取り組みをお分かちください。分科会が皆さまの教会にとって、このフェスタのフォローアップになるようにと願います。

3 世界宣教は “短期”宣教体験から始まる

- 杉本 信牧師 (玉川上水)

短期宣教に出かけることも、短期宣教チームを受け入れることも、それは主の教会にとって大きな恵みとなるに違いありません。震災ボランティア、宣教船ロゴス・ホープ、PCJ 夏期伝道参加など、様々な形で「短期宣教」を経験して神様から教えて頂いたことを分かち合わせて頂きます。

- マイケル・カーター宣教師 (志賀) (司会)

大学卒業後、就職先もなく、自分が一体何をしたいのかもわからない時に、両親から1年間だけ宣教師をやってみないかと勧められて来日。何の期待もしていなかったのに、神様はその1年の間に、日本における福音の必要性を私に示され今、こうしてフルタイムの宣教師として家族で仕えています。

4 神の召しに向き合う

2人の牧師が、“いろいろありながら”、神様の召しに向き合った人生をお分かちします。

- 永田 信昭牧師 (おゆみ野・土気)

クリスチャンホームに生まれるが、ロック音楽にはまり人生そのものを壮大に踏み外す。イエス様の憐れみにより回心に導かれ、その後もいろいろありながら牧師をやっている。

- 古川 和男牧師 (池戸) (司会)

秋田で生まれ、福岡・新潟で育ち、北海道、埼玉、パース、徳島を経て、昨年香川の牧師。訳書『ロスト・イン・ザ・ミドル』近刊予定です。

5 定年退職から世界宣教へ

長い定年後の時間、世界宣教に関わるヒントをお分かちします。

- チェン 有美子姉 (おゆみ野・AI)

米国で 41 歳の時にクリスチャンとなり、リタイヤを目前にした夫と孫たちとの平穏な日々を送っていた矢先、夫がジョン・パイパー書『人生を無駄にするな』を読後、宣教師になることを決意してしまい…

- 富田 文彦長老 (おゆみ野・土気) (司会)

二毛作人生を目指し、サラリーマン生活に区切りをつけ長老と日本語教師として楽しい日々を過ごしています。

6 ウクライナ宣教報告 戦禍の中にあつての宣教

- イワン・ベスパロフ師(ウクライナ福音長老教会) 【通訳】石戸光長老(ちはら台キリスト教会)

昨年に引き続き、ウクライナ福音長老教会のイワン・ベスパロフ牧師に、ウクライナのキーウよりライブで登場して下さい。昨年の Zoom フェスタでは、ロシアに侵攻されて以来、戦争の直中にある教会の底知れない哀しみと宣教の苦しみについてお分かち下さり、私たちは大変衝撃を受けました。今や首都キーウも日々ミサイル攻撃に晒される緊迫した状況となり、その中で宣教のチャレンジ、神様がなさるお働きについてお分かち頂きます。